



平成 28 年 1 月 14 日

各 位

会社名 株式会社アデランス
代表者名 代表取締役会長兼社長 根本 信男
(コード: 8170 東証第一部)
問合せ先 広報 IR 部 IR 担当 高橋 道義
(TEL. 03-3350-3268)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 4 月 14 日に公表した、平成 28 年 2 月期の業績予想につき、下記のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。

記

1 平成 28 年 2 月期通期連結業績予想数値の修正

(平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	81,000	3,700	3,300	2,800	78.58
今回修正予想(B)	80,000	△800	△700	△1,500	△42.94
差 異 (B-A)	△1,000	△4,500	△4,000	△4,300	
増 減 率(%)	△1.2	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 2 月期)	76,725	2,880	5,997	5,075	142.43

2 修正の理由

連結業績につきましては、創業より過去最高の売上高を見込んでおりますが、国内のアデランス(オーダーメイド)事業の女性売上、フォンテーヌ(レディメイド)事業の売上が、低価格帯のウィッグを取扱う異業種の参入や競合他社の増加、更に消費行動の変化などにより、期初計画を下回る見通しとなりました。

ただし、ボズレー(ヘアトランスプラント)事業、米国 HC 社(ヘアクラブ)を中心とする海外ウィッグ事業は成長基調にあり、計画に対して概ね順調に推移しております。

現在、国内の売上回復のため、中長期成長を見据えた医療事業、GMS を中心とした店舗展開等の投資を行っており、更に海外の更なる成長に向けた投資を行っておりますが、今期中の効果は限定的と想定しています。

また、その他の販売費および一般管理費の低減に努めましたが、国内の売上高の減少を補えず経常利益、当期純利益とも予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

以 上